【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第７区分
【発行日】平成21年7月16日(2009.7.16)

【公表番号】特表2009-521376(P2009-521376A)
【公表日】平成21年6月4日(2009.6.4)
【年通号数】公開・登録公報2009-022
【出願番号】特願2008-540466(P2008-540466)
【国際特許分類】
Ｂ６５Ｈ　31/18　　(2006.01)
Ｂ６５Ｈ　31/36　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｂ６５Ｈ　31/18
Ｂ６５Ｈ　31/36

【手続補正書】
【提出日】平成20年5月16日(2008.5.16)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
好ましくは、グラフィック手段によってシートを処理する機械、具体的には、印刷機、好ましくは、電子写真的に動作される機械内にシートを蓄積するための装置であり、処理済みシートを蓄積し、且つ、好ましくは、積み重ねるための少なくとも１つの蓄積トレイを含み、前記蓄積トレイの蓄積表面は、水平から逸脱する角度に配置され、或いは、配置されることができ、前記蓄積表面は、水平なシート輸送経路に対してある角度で横方向に傾斜され或いは回転される装置であって、前記蓄積表面は、大部分は、或いは、少なくとも複数区画において、仕切り状のフレームを備え、該フレームは、到着シートに面する側で直角に本質的に構成されること、並びに、前記仕切りが垂直軸について旋回され得るよう、前記到着シートに面する、そのように創成される仕切りの前側は、約５°から約１５°、好ましくは、約９°のほぼ同一の角度で頂部から見られるときに、前記シート輸送方向に対して横方向の方向に向けられる垂直表面に対して、前記機械に合体されることを特徴とする、装置。
【請求項２】
前記フレームは、隅部地域及び／又は近隅部地域に、前記シートの隅部のための自由空間として開放区画を有し得ることを特徴とする、請求項１に記載の装置。
【請求項３】
前記フレームは、前記シートの自由空間を創成するために、頂角線の地域内で横方向に開放されることを特徴とする、上記請求項のうちのいずれか１項に記載の装置。
【請求項４】
輸送方向において、前記蓄積表面は、水平面に対して斜め上向き角度に整列されることを特徴とする、上記請求項のうちのいずれか１項に記載の装置。
【請求項５】
前記蓄積表面は、前記シート輸送方向に対して横方向に延びる頂角線を有する角度に構成されることを特徴とする、上記請求項のうちのいずれか１項に記載の装置。
【請求項６】
前記蓄積表面は、初期的には、第一区画において、前記シート輸送方向に第一角度で比

較的急勾配で初期的に上昇し、第一区画において、前記水平面に対して比較的より平坦な角度で第二角度に向けられることを特徴とする、請求項５に記載の装置。

【請求項７】

前記到着シートに面して、前記蓄積表面の前記第一の最深の区画として、ほぼ水平な区画が設けられることを特徴とする、上記請求項のうちのいずれか１項に記載の装置。

【請求項８】

前記蓄積トレイは、上昇され且つ下降され得るよう配置されることを特徴とする、上記請求項のうちのいずれか１項に記載の装置。

【請求項９】

上記請求項のうちのいずれか１項に記載の装置のための蓄積トレイであり、前記蓄積トレイの蓄積表面が、少なくとも前記水平から逸脱する角度で配置され或いは配置されることができ、前記蓄積表面は、水平なシート輸送経路に対してある角度で横方向に傾斜され或いは回転される蓄積トレイであって、前記蓄積表面は、大部分において、或いは、少なくとも複数区画において、仕切り状のフレームを備え、該フレームは、前記到着シートに面する側で直角に本質的に構成されること、並びに、前記仕切りが旋回され得るよう、前記到着シートに面する、そのように創成される仕切りの前側は、約５°から約１５°、好ましくは、約９°のほぼ同一の角度で頂部から見られるときに、前記シート輸送方向に対して横方向の方向に向けられる垂直表面に対して、前記機械に合体されることを特徴とする、蓄積トレイ。